

## 1. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、心豊かで自立した人間を育てるとともに、将来幅広く音楽専門家として活躍し、文化の発展に貢献できる人を育成する。

教育目標の達成のために、実技力・学力・人間力の3つの力をバランスよく育成し、それらが結合された音楽力を高める教育を行う。

実技力…音楽の世界で飛躍するために必要な感性と技術、ソルフェージュの力、音楽史や音楽理論などの専門的な知識

学 力…進路実現に向けた確かな学力、社会で生きていくための基礎知識と、自ら考え行動できる力

人間力…自立した人間として、音楽を通して何ができるかを考えることができる力、人の痛みがわかり、地球の裏側まで慮ることができる思いやりの心

## 2. 学校経営の基本方針

### ① 実技力のさらなる進化を求める。

- ・将来、音楽専門家として活躍するために必要な基礎力をすべての生徒が培い、その上に自らの専門性を高め、日本の、世界の音楽シーンをリードする音楽家の育成を目指す。
- ・音楽におけるキャリア教育を意識するとともに、それぞれの授業における評価を明確にし、生徒自身が自らの目標達成に向けて自発的に音楽に取り組み、自らを進化させていく力を育てる。

### ② 社会で活躍していくための学力を求める。

- ・生徒が自らを社会の中で生かし、日本をはじめ広く世界で社会に貢献することができる学力を得られるように努める。
- ・生徒の主体的で深い学びにつながるように授業を工夫し、必要とする力を生徒自らが獲得していくように努める。
- ・授業の目的や評価を明確にし、学びの基礎診断や学校（授業）評価等を用いて、常に授業改善に努め、授業の質を高める。

### ③ 心豊かな音楽人を育成する。

- ・音楽が持つ力を信じ、生徒自らが豊かな感性・情操を培うとともに、音楽が他者や社会に与える影響を考え、音楽を通してよりよい社会の実現を希求し続けていけるようにする。
- ・京都の文化的な風土・特性を十分に理解し、伝統の上に立ちながら、自らが独自の音楽を創造していく気概を持つように努める。